

4. 生物多様性や生態系ネットワーク構築のための調査

既存の緑地等における生態系ネットワーク機能の促進に関する調査および検討を行なうに当たっては、生物の生息・生育基盤となる基礎的な事項と、そこに生息・生育する動植物の生息・生育状況の2つの視点から調査・検討を行う必要がある。

動植物の生息・生育状況は、市民参加型自然環境調査の試行により、生物の生息・生育状況を把握・検討した。

生物の生息・生育基盤となる基礎的な事項の調査は、モデル地点（施設）およびその周辺地域における生物の生息・生育基盤の要素を、緑地の分布状況、緑地の規模、緑地の質の視点から調査した。